

# 新幹線特別委員会 行政視察報告

2月1日から2日にかけて、委員5名、市当局1名、事務局随行者1名で、富山県富山市、長野県飯山市を訪問し、北陸新幹線駅舎（富山駅・飯山駅・黒部宇奈月温泉駅）を視察してまいりました。

## ■富山県富山市

### 【北陸新幹線駅舎等整備について】

富山市は富山県のほぼ中央に位置し、平成17年の合併を経て、現在は県全体の約3分の1の面積を占める都市となっています。

富山市では現在、公共交通の活性化によるコンパクトなまちづくりを目指し、富山駅を拠点とした、国内初の本格的なLRT（ライトレール）を初めとした路面電車、路線バス等の公共交通網を整備するほか、自転車市民共同利用システム（アヴィシ）を導入し、市内20カ所の専用ステーション、220台の専用自転車を設置することで、快適な生活環境の維持向上や中心市街地の活性化を図っているとのことでした。

富山駅駅舎デザインについては、市が要望した「立山あおぎ心ときめく光の舞台」のデザインコンセプトをもとに作成された3つのデザイン案について、パブリックコメントにおける意見を踏まえて決定し、鉄道・運輸機構に対し回答する際には、「ガラスの街とやま」を発信するため、ガラス面を広くとること、地場製品の活用を図ることなどの附帯意見を添えたとのことでした。

また、駅周辺には600台余りを収容できる市営駐車場を設置してあるものの、駅利用者への利用は少なく、その理由として、料金が高いことが考えられるが、公共交通の活性化の観点から、料金の低減化は考えていないとのことでした。

なお、富山駅を視察した際、駅周辺にはハンギングバスケットが多く設置されていました。植栽を初め、水



北陸新幹線駅舎等整備の説明  
(富山県富山市)

やりなどの管理もすべて業者に委託しているとのことでした。

## ■長野県飯山市

### 【北陸新幹線駅舎等整備について】

飯山市は長野県の北東に位置し、斑尾高原、戸狩高原といった高い知名度を誇るスキー場を抱え、毎年多くの観光客が訪れています。

その一方で、近年は少子高齢化や人口減少など、加賀市と共通した課題の解決に向け、移住定住施策の推進のほか、周辺の8市町村とともに「信越自然郷」として地域の魅力発信に取り組んでいます。



北陸新幹線飯山駅 視察  
(長野県飯山市)

そのアクセスの中心となる「飯山駅」には、観光案内所や物品販売所、信越自然郷アクティビティセンターなどが入居する「アトリウム」と呼ばれる飯山市の施設が併設されていました。

この信越自然郷アクティビティ

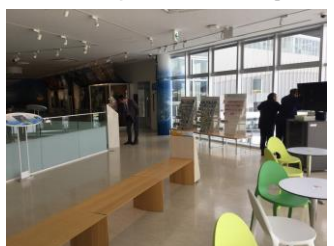
センターでは、アウトドアスポーツのイベントやツアー、講習会の企画を行うほか、グッズ販売を行い、外国人の姿も多く見られました。

なお、駅舎デザインの選定にあたり、県産木材の活用や市の伝統的工芸品「内山紙」を用いることを要望し、完成した駅舎には一定の評価を得ていると感じているとのことでした。

## ■黒部宇奈月温泉駅

行政視察の帰路、黒部宇奈月温泉駅に立ち寄りました。

駅に隣接した黒部市地域観光ギャラリーには、展望テラスのほか、山から海までの広大な自然を一望できる巨大ジオラマ、3面スクリーンを使った四季折々の絶景や祭りの紹介映像コーナーなどが設置されていました。



北陸新幹線  
黒部宇奈月温泉駅 視察

## ■視察を終えて

今回視察した北陸新幹線駅舎及び視察先で聞いた内容を参考にしながら、加賀温泉駅舎及びその周辺の魅力向上に役立てていきたいと思っております。